



醸造用ぶどう「甲州」推奨系統の苗木生産・供給



公益財団法人 山梨県農業振興公社

〒400-0034 甲府市宝一丁目21番20号

TEL:055-232-2760 FAX:055-223-2117

令和7年3月版

醸造用ぶどう「甲州」の苗木生産(1年目)

『県奨励品種等種苗供給対策事業』

山梨県は、日本ワインの生産量、出荷量とも全国一位を誇る日本一のワイン産地です。

県では、甲州ワインの更なる高品質化を進めるため、「山梨ワイン産地確立推進会議」において、推進計画（第一期：2007～2015、第二期：2016～2025）を策定し、「甲州」の増産、高品質化に取り組んでいます。

高品質化に向けた取り組みの一つとして、県内の栽培条件に合った系統の選抜に約十年に渡って取り組み、これまでに四系統を推奨系統として指定しました。

この四系統の早期普及のため、農業振興公社では、平成29年度から、県の委託を受け、「甲州」の苗木の生産と供給に取り組んでいます。

台木と穂木の育成（1年目）

☆台木と穂木は、「母樹園」から採取

☆12月中旬に母樹園より、挿し木用の穂木を採取し冷蔵庫で保管

☆台木及び甲州の穂木を4月中旬に冷蔵庫から出庫し、挿し穂を調製、一昼夜吸水させてから『挿し木』して一年間育成

☆挿し木の活着率は、約90%



採取した穂木



母樹園



挿し穂の調製と結束



ベンレート水和剤1,000倍液に吸水を兼ね浸漬



★挿し木作業



①挿し穂の調製



②挿し木

挿し木《雨水や病原菌の侵入防止、乾燥防止のため挿し穂の頭にトップジンMペーストを塗布》



台木を挿し木した状況(4月中旬)

《畝間;1.3m・株間;15cm》



支柱、灌水設備等を設置した状況



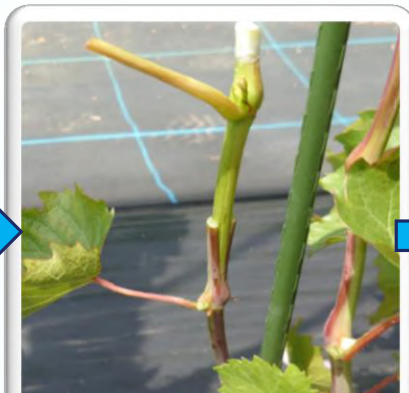
挿し木後の生育状況（6月中旬）

醸造用ぶどう「甲州」の苗木生産(2年目)

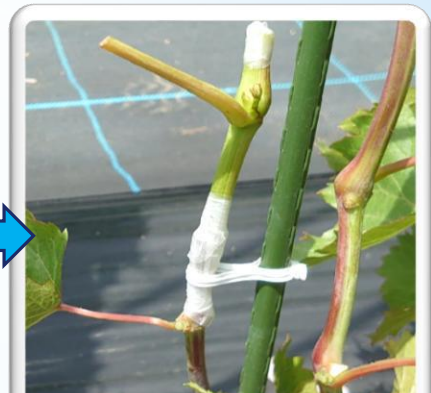
★緑枝接ぎ



①台木の中央にカミソリ刃で切れ込みを入れる



②クサビ形に切った穂木を挿し込む



③パラフィルムで保護・固定

接ぎ木(2年目)

★緑枝接ぎ作業



①台木の選定と処理



②穂木の処理と接ぎ木

★休眠枝接ぎ



接木後の生育状況(6月上旬)

☆成苗率(生産本数に対する販売可能本数の割合)は、95%以上

☆接ぎ木の活着率は、約95%

☆接ぎ木位置は、地上約20~30cm

☆一年間育成した台木を2月上旬に基部約10cm程度で剪定し、5月上旬~下旬に、発芽生育した台木の新梢に接ぎ穂の甲州の新梢を『緑枝接ぎ』又は冬期に冷蔵保管した休眠枝を接木する『休眠枝接ぎ』によって苗木を育成



苗木の掘り取り・受け渡し

☆苗木は11月中旬に掘り取り、根の状態や枝の充実程度等により4段階に等級分け

☆苗木には、1本毎にアルミ製の『確認票』を付け、系統、台木、生産年度・苗ナンバーを標記

☆苗木の受け渡しは、12月上旬~中旬に実施



掘り取り後の苗木仮植状況(11月中旬)



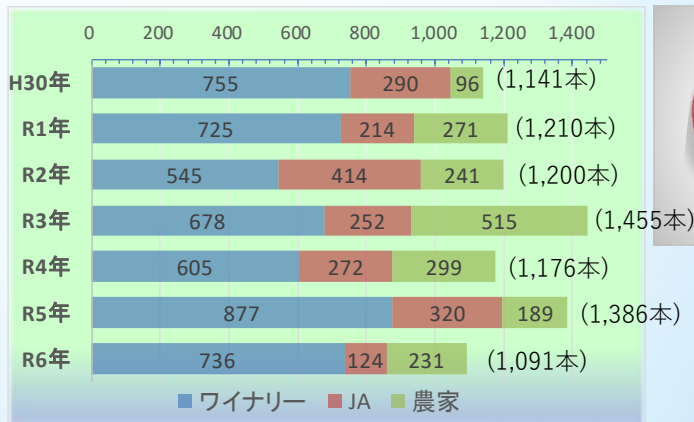
苗木(特上苗)



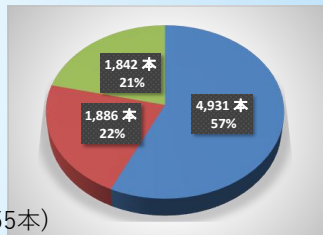
苗木供給(販売)実績《平成30年~令和6年の7ヶ年合計》

- ・ワイナリー；延べ148社(4,931本)
 - ・農協；延べ17組合(1,886本)
 - ・新規就農者・生産農家；延べ130戸(1,842本)
- 延べ295件
8,659本

《年度別の販売状況》



《区分別の販売状況》



苗木確認票ラベル

確認票
系統名 KW 05/101-14
苗木番号 24-00001
供給者名 (公財)山梨県農業振興公社



生産している苗木の特徴

☆2年生の台木に緑枝接ぎ（休眠枝接ぎ）する方法で育成しているため、枝条が充実し、登熟も良く、根の張りも良好な苗木が生産されています。

醸造用ぶどう「甲州」の推奨系統の特徴

『KW01』

○ワインの質

- ・生き生きとした味が特徴のフレッシュタイプ。
- ・柑橘とエステル系の甘い香り、酸に由来する骨格、中程度の強さ。甘さを想定する香りが特徴的。

○ブドウ生産

- ・糖度は17.1° Brix で、果房重が362gとやや大きい。
- ・収量は2.1t/10aである。



『KW02』

○ワインの質

- ・香りはややおとなしい。柑橘とエステル系の甘い香りのバランス良。
- ・甘さと酸のバランス良。骨格というよりもやわらかい印象あり

○ブドウ生産

- ・房が大きく、量がたくさん採れる増量タイプ。
- ・糖度は16.7° Brix であるが、着粒多く、果房が477gと大きい。
- ・収量は2.7t/10aである。



『KW05』

○ワインの質

- ・濃い味が特徴の凝縮タイプ。フェノリック、ピーチ、焼いたリンゴなどの甘い香りが優勢。
- ・酸がないわけではないが、フェノール系成分や様々な味わいに寄与する成分が多い。強さがある。製法によっては乾く味わいあり。

○ブドウ生産

- ・収穫期は早い系統である。
- ・糖度は18.1° Brix と高く、収量は1.8t/10aである。



『KW06』

○ワインの質

- ・柑橘系の香りが華やかであり、味わいはフルーティーでやわらかいのが特徴である。

○ブドウ生産

- ・収穫期は、他の系統より4~7日早く、推奨系統の中で最も早い。
- ・糖度は18.3° Brix と高く、果房重が385gと大きく、収量は「KW02」と同程度の2.7t/10aである。



果樹試験場成果情報より抜粋



☆苗木の販売については、8月下旬に公社HPに公開 URL <http://www.y-nk.jp>
(注文の受付は、9月~10月上旬を予定しています)

